

令和3年度 松江市の財務諸表（一般会計等）

貸借対照表 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを対照表示したもの

借方（現在有する資産）	貸方（資産の調達財源）
【資産の部】（将来の世に残る財産の金額）	【負債の部】（将来の世が負担する金額）
1 有形固定資産 （道路、公園、学校、庁舎等） 3,104億39百万円	1 固定負債 （地方債や将来の職員の退職金等） 1,048億19百万円
2 無形固定資産 （ソフトウェア等） 1億53百万円	2 流動負債 （地方債翌年度償還額、賞与引当金等） 127億32百万円
3 投資等 （基金、貸付金、出資金等） 187億69百万円	負債合計 1,175億52百万円
4 流動資産 （現金預金、財政調整基金、市税未収金等） 98億98百万円	【純資産の部】（これまでの世が負担した金額）
うち、現金預金 39億59百万円	
資産合計 3,392億59百万円	負債・純資産合計 3,392億59百万円

資金収支計算書

「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したものの

前年度末資金残高	30億25百万円
本年度資金収支額	2億29百万円
1 業務活動収支 （税収、補助金支出、職員給与等） 93億82百万円	
2 投資活動収支 （公共資産整備支出、基金積立等） △47億45百万円	
3 財務活動収支 （地方債の借入、地方債の償還） △44億8百万円	
本年度末資金残高A	32億55百万円
前年度末歳計外現金残高	7億92百万円
本年度歳計外現金増減額 △88百万円	
本年度歳計外現金残高B	7億4百万円
本年度末現金預金残高(A+B)	39億59百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したものの

前年度末純資産残高	2,216億2百万円
当期変動額	1億7百万円
純行政コスト(▲)	△932億81百万円
1 財源 （市税、地方交付税、国県補助金等） 937億77百万円	
2 その他 （資産評価差額、無償所管換等） △389百万円	
期末純資産残高	2,217億9百万円

行政コスト計算書

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常費用】A	954億74百万円
1 業務費用 （人件費、物件費、その他の業務費用） 454億85百万円	
2 移転費用 （補助金等、社会保険給付、他会計繰出等） 499億89百万円	
【経常収益】B	36億96百万円
1 使用料及び手数料 21億93百万円	
2 その他 15億3百万円	
純経常行政コストC(A-B)	917億78百万円
1 臨時損失D 19億65百万円	
2 臨時利益E 4億62百万円	
純行政コスト(C+D-E)	932億81百万円

【4表の相互関係】

① 「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
 ② 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
 ③ 「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況
 （令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口198,330人に基づき算出）

- 資産 171万1千円
- 負債 59万3千円

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- 将来の世代の負担率 19.59%

●公共施設等の資産老朽化率 63.55%

基礎的財政収支（プライマリーバランス）は自らの財源で運営できているか

- 58億1百万円の赤字

基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

業務活動収支	93億82百万円
支払利息支出	4億68百万円
投資活動収支	△47億45百万円
基金積立収支	6億96百万円
基礎的財政収支	58億1百万円

※一般会計等の内訳

【一般会計等】

- ・一般会計
- ・公園墓地事業特別会計
- ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計